

NSW

Humanware By Systemware

第57期

中間報告書

NSW 株式会社

〈証券コード:9739〉

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第57期第2四半期連結累計期間の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの経済再開や水際対策の緩和等による業績改善が期待される一方、ウクライナ戦争や米中対立によるサプライチェーンの混乱、エネルギー価格の高騰、さらには歴史的な円安の進行等、景気減速の懸念が強まっており、先行きは一層不透明感が増しております。

情報サービス産業界におきましては、デジタルトランスフォーメーション（DX、デジタル変革）関連投資の拡大や、グリーントランスフォーメーション（GX）への関心の高まり等もあり、需要は底堅く推移しました。このような状況のもと、当社グループは、DXやクラウド関連ビジネスが好調なほか、組込み開発および半導体の設計・開発・評価業務も堅調に推移した結果、売上高は211億27百万円、営業利益は22億48百万円と、昨年に引き続き上期としては過去最高を更新しました。

当社グループは中期経営計画（2022年4月～2025年3月）において、「デジタル変革による社会と企業の持続的成長の両立～技術と知によりお客様とビジネスを共創するSlerへの進化～」を基本方針に、今後もお客様の企業変革とともに推進するパートナーとして、皆さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

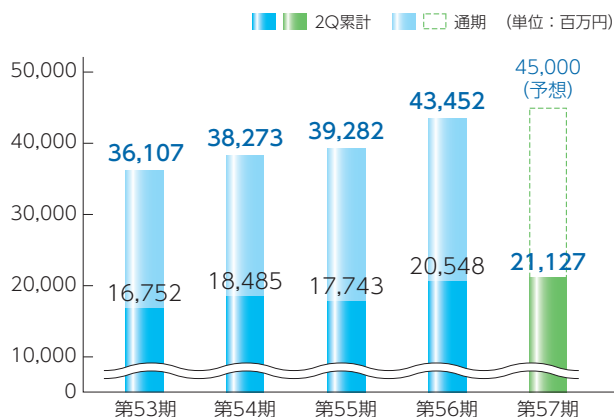


代表取締役執行役員社長
多田 尚二

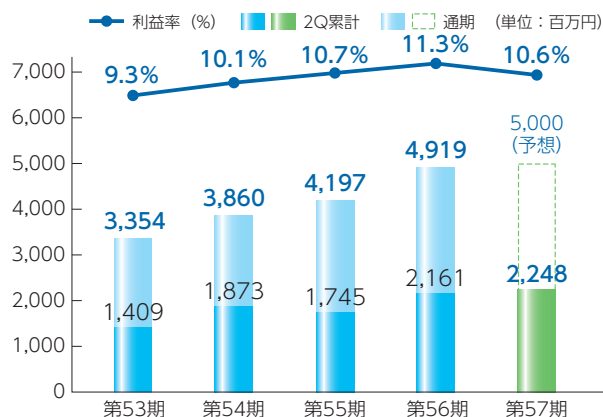
Financial Highlights

連結業績ハイライト

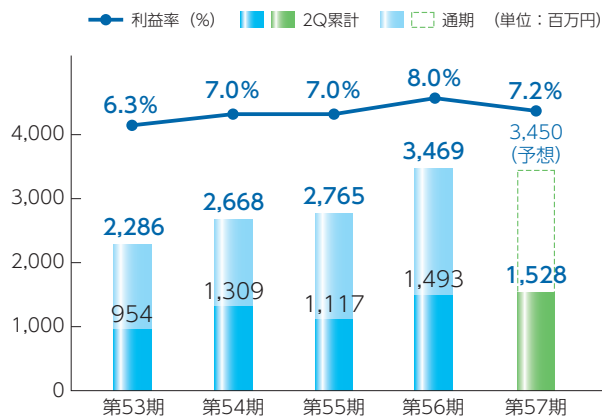
売上高 211億27百万円



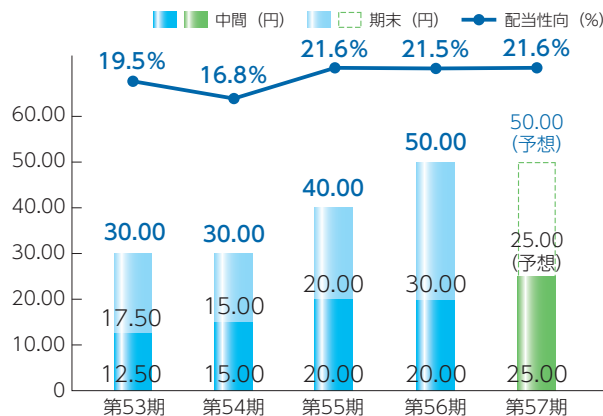
営業利益 22億48百万円



親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益 15億28百万円

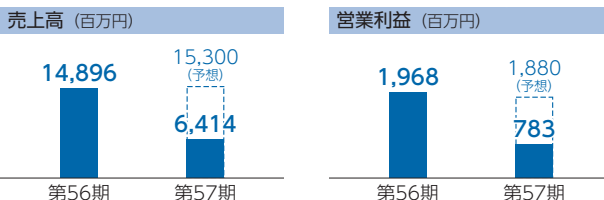
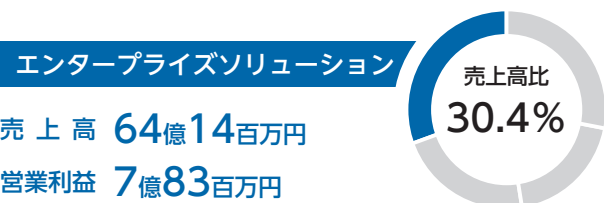


1株配当金と 配当性向 (期末) 1株配当金 25円

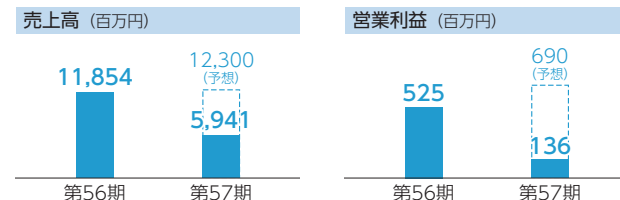


Business Segment Overview

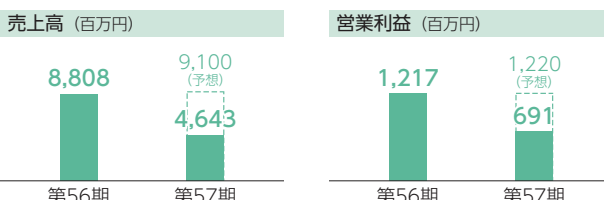
連結セグメント別概況



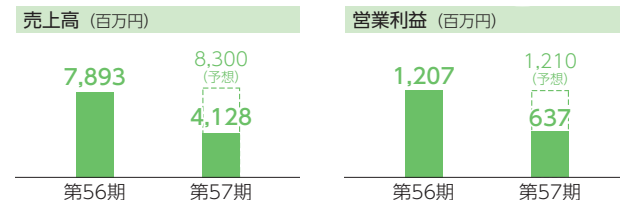
売上高につきましては、製造業向けシステムが堅調に推移するも、前年同期の小売業向けシステム機器販売の反動により減収となりました。利益につきましては、減収に伴う利益減のほか、研究開発にかかる費用の増加等により減益となりました。



売上高につきましては、デジタルソリューション、クラウド・インフラサービスともに堅調に推移し増収となりました。利益につきましては、一部の低採算案件の影響や事業拡大に向けた体制強化および戦略的投資により減益となりました。



売上高につきましては、オートモーティブやモバイル開発、設備機器分野を中心に好調に推移し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により増益となりました。



売上高につきましては、需要の拡大が続く半導体市場を背景に好調に推移し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により増益となりました。

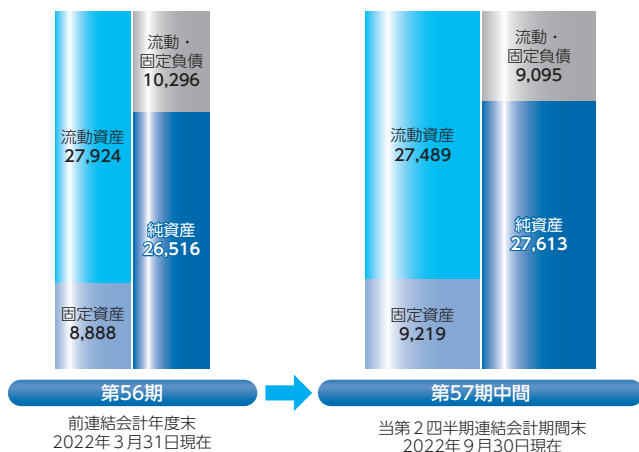
※当期より、事業セグメントの区分を変更しております。各事業セグメントの前期の数値については変更後のセグメント区分に組み替えた数字を表示しております。

Financial Statements

連結財務概況

■ 四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



■ 決算数値のPOINT

1. 資産について

総資産は、36,709百万円となり、前連結会計年度末比103百万円の減少となりました。これは主に、商品、仕掛品、投資その他の資産に含まれる敷金・保証金の増加がある中で、現金及び預金の減少、売掛金の減少があったことによるものであります。

2. 負債について

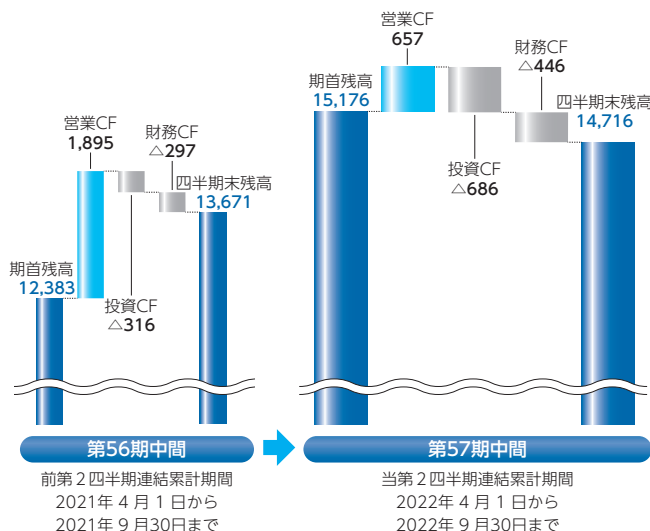
総負債は、9,095百万円となり、前連結会計年度末比1,201百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少、未払消費税等の減少、賞与引当金の減少があったことによるものであります。

3. 純資産について

純資産は、27,613百万円となり、前連結会計年度末比1,097百万円の増加となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



4. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、657百万円（前年同期比1,237百万円の収入の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に対し、売上債権の減少額、棚卸資産の増加額、減価償却費、仕入債務の減少額、未払消費税等の減少額があったことに加え、法人税等の支払があったことによるものであります。

5. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、686百万円（前年同期比369百万円の支出の増加）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出によるものであります。

6. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、446百万円（前年同期比148百万円の支出の増加）となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

建設DXへの取り組み デジタル技術を活用し働き方改革を支援

建設業界の課題である労働力不足解決に向け、当社はデジタル技術を活用した建設現場の働き方改革を加速する様々なソリューションを提供しています。

建設業向けARソリューション「ConstAR」は、設計図や建築完成図などのAR（拡張現実）コンテンツを素早く作成し共有することで、労働時間の短縮や業務効率の向上を可能にします。その他、音声認識による100%ハンズフリーを実現する産業用スマートグラス「RealWear」、設備情報を可視化するBIM-IoTソリューション、AIを活用した画像解析などにより、建設業の業務変革を推進してまいります。



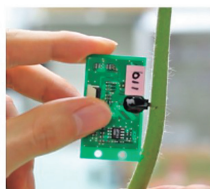
タブレットでARコンテンツを確認

バイオイメージセンサプラットフォーム研究開発

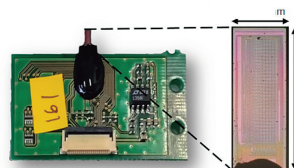
当社は、豊橋技術科学大学と物理・化学情報を可視化するバイオイメージセンサプラットフォームの共同開発を行っています。このイメージセンサが実現されるとデータの価値が高まり、医療、バイオ・化学分野への高度情報化と基幹産業の創出につながるとされています。

イオンなどの化学反応を分析・研究するためのバイオセンサチップ開発には、当社が得意とするCMOSイメージセンサの技術を応用しています。現在は研究過程であり、大学、企業などの研究機関向けに、プロトタイプやセンサのデザインサービス、センシング装置のFPGA開発、DX領域では取得データのAI分析など、幅広く対応しています。

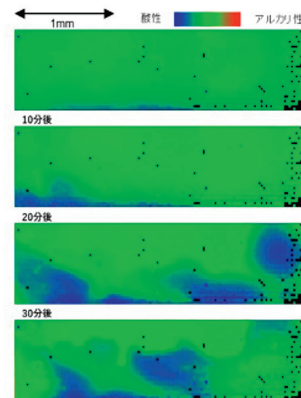
引き続き各企業と共創し、センサ開発サービス、データ解析・分析サービスを多方面に提供し、社会実装を視野に入れて取り組んでまいります。



トマト茎へのセンサ刺入



植物刺入型イオンイメージセンサ



トマトに酸性溶液を吸収させたときの茎内pH変化のイメージング

バイオイメージセンサ 農業向けセンシング

Corporate data

会社情報

会社の概況

(2022年9月30日現在)

商号	NSW 株式会社
設立	1966年(昭和41年)8月3日
本社	東京都渋谷区桜丘町31番11号
資本金	55億円
代表取締役	執行役員社長 多田 尚二
従業員数	2,433名(連結)
取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行
主たる関係会社	NSWテクノサービス株式会社 京石刻恩信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSWウィズ株式会社
事業拠点	渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡 北九州 台湾

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	14,900,000株
株主数	4,715名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)タグ・コーポレーション	5,000	33.55
多田 修人	1,537	10.31
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,111	7.46
(株)日本カストディ銀行(信託口)	1,085	7.28
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	695	4.66
多田 尚二	316	2.12
多田 直樹	300	2.01
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	300	2.01
日本電気(株)	233	1.56
MSIP CLIENT SECURITIES	218	1.46

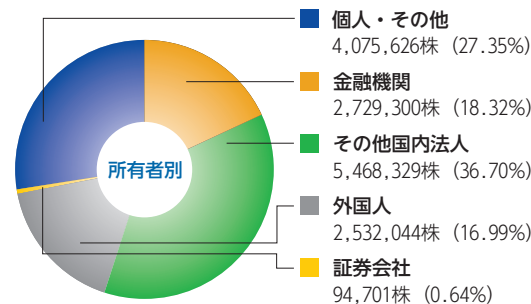
※ 持株比率は自己株式(537株)を控除して計算しております。

役員構成

(2022年9月30日現在)

代表取締役 執行役員社長	多田 尚二	執行役員副社長	小関 誠一
取締役 執行役員専務	阿部 徳之	執行役員常務	我妻 誠
取締役 執行役員専務	須賀 譲	執行役員常務	山田 武史
取締役 執行役員専務	須賀 譲	執行役員	市川 照明
取締役 執行役員常務	竹村 大助	執行役員	山口 真吾
取締役 監査等委員	佐野 滋	執行役員	岡部 晴美
取締役 監査等委員(社外)	小谷野幹雄	執行役員	大島 幸司
取締役 監査等委員(社外)	増井 正行	執行役員	西田 隆二
取締役 監査等委員(社外)	石井 尚子	執行役員	上野 伸二
		執行役員	福田 拓造
		執行役員	小山 文雄
		執行役員	森口 毅
		執行役員	長正 聡

株式分布状況(株式数構成比)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月下旬開催		
基準日	定時株主総会・期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社		
特別口座の管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		
郵送物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号		
電話照会先	☎0120-782-031		
公告掲載URL	https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)		

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報をはじめとするさまざまな情報をタイムリーにお届けしております。ぜひご覧ください。



<https://www.nsw.co.jp/>

株式に関するお問い合わせ

- 配当金の受領方法・振込先の変更
- 届出住所・姓名などの変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

- 特別口座に関する照会
- 郵送物の発送と返戻に関する照会
- 支払期間経過後の配当金に関する照会
- その他株式事務に関する一般的な照会

三井住友信託銀行までお問い合わせください。

株式に関するQ&A



「配当金領収証」で配当金をお受け取りの株主さまへ

「銀行口座・証券口座での受取」をお勧めします。

口座での受け取りに変更すると…

- 手間なく、すぐに受け取れます。
支払開始日にご指定の口座に自動的に振り込まれます。
- 安心確実です。
「配当金領収証」の紛失や、受け取り忘れの心配がありません。

詳細は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

UD FONT

